

(4)建設業の担い手確保について

若年の入職・定着しない原因

建設業への理解

建設業への理解不足によるミスマッチ。

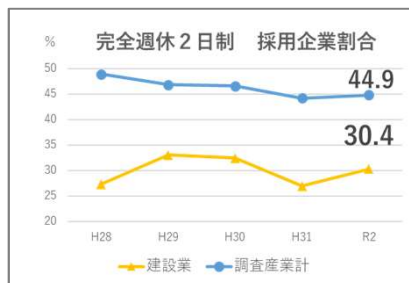
- ・建設業のやりがいや魅力が伝わっていない。
- ・入職前のイメージと実際の業務とのギャップがある。

魅力発信

- ・現場見学会
- ・出前授業
- ・女性技術者と女子学生の交流会など

休日の状況

完全週休二日の導入率は全産業に比べ10%以上低い。



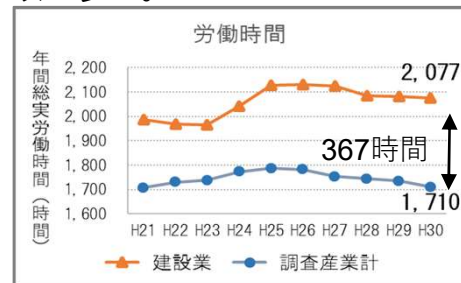
出典：「厚生労働省」就労条件総合調査

休日の確保

- ・週休2日制工事の推進

労働時間

県内建設業の年間総実労働時間は全産業に比べ年間300時間以上多い。



出典：三重県「毎月勤労統計調査」

長時間労働是正

(生産性の向上)

- ・施工時期の平準化
- ・ICT活用工事の促進

技能労働者の処遇

身に着けた能力や経験に応じた処遇が無い。

- ・適切な賃金水準の確保が必要。
- ・キャリアアップを促していく制度が無い。

処遇改善

- ・最新の実勢価格を設計労務単価へ迅速に反映
- ・建設キャリアアップシステム (CCUS) の活用等

①令和3年度
長時間労働是正の取組
(生産性の向上)

ICT活用工事の促進

対象工種を拡大し、ICT活用工事の促進を図ります。

②令和3年度
処遇改善の取組

建設キャリアアップシステム (CCUS) の活用

モデル工事を実施し、建設現場でのCCUS活用促進を図ります。

① ICT活用工事の取組

平成30年度から、建設現場の生産性向上を図るためにICT活用工事を実施

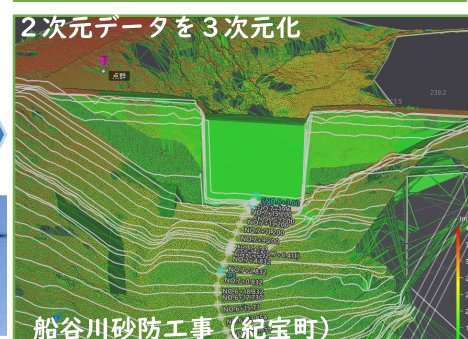
【建設工事の5つのプロセスでICTの活用を促進】

① 3次元起工測量



起工測量の日数を削減

② 3次元設計データの作成



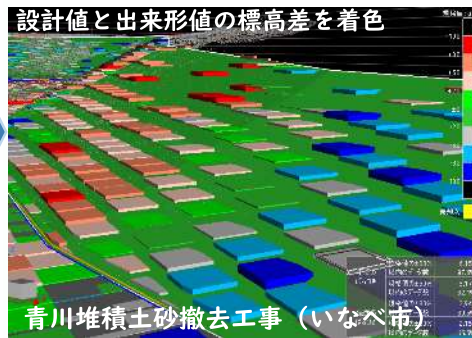
3次元座標を持った設計データ

③ ICT建機による施工



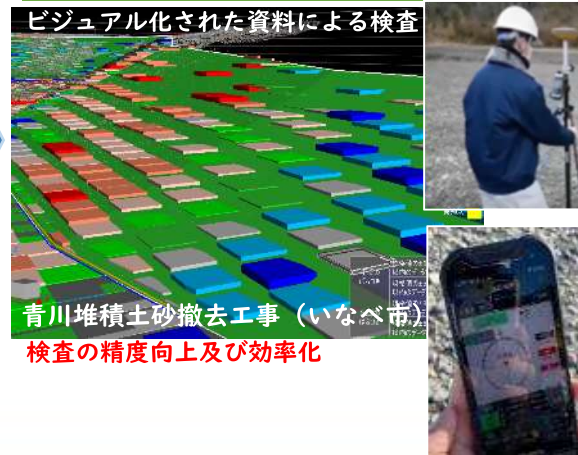
設計データにより施工を自動制御

④ 3次元出来形管理

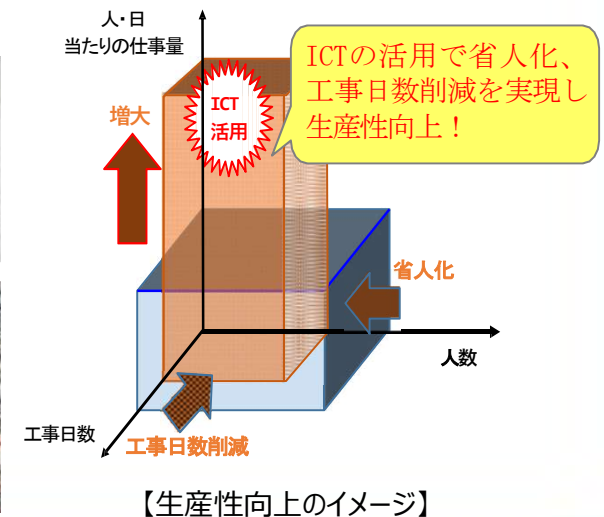


出来形管理資料を自動作成

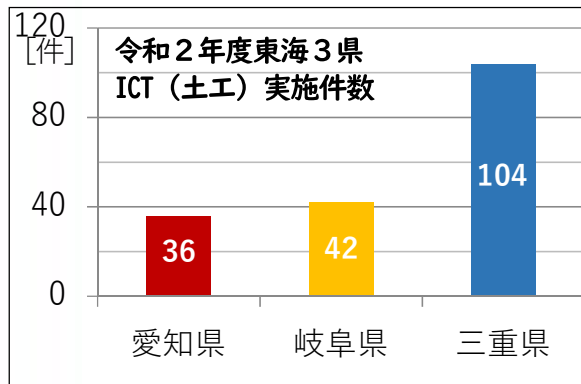
⑤ 3次元データの納品



検査の精度向上及び効率化

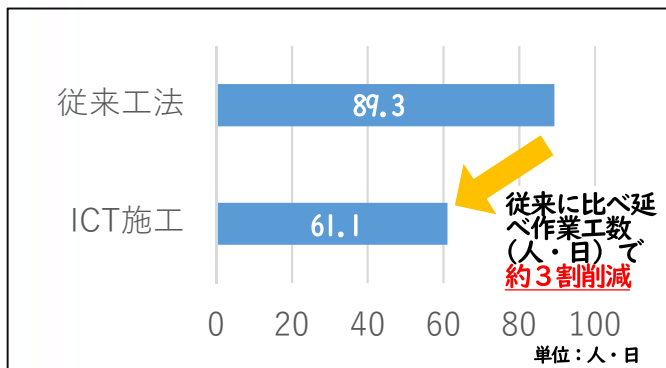


② R2年度ICT活用工事（土工）の実績



令和2年度	ICT実施率（※）
三重県	65%
全都道府県・政令市	21%

104件/161件 = 65%
 (※)ICT活用工事の対象として発注された工事の内、ICTを実施した工事の割合



(令和2年度発注工事の受注者アンケート調査より)

③ R3年度ICT対象工事、適用工種の拡大

- 土工の対象工事を拡大
 工事規模 1,000m³以上 ⇒ 500m³以上
- これまでの土工、舗装工に以下の工種を加えて適用工種を拡大
 法面工、地盤改良工、河川浚渫、舗装工（修繕工）、浚渫工（港湾）等

④ ICT活用工事の課題

次の点も踏まえ、引き続きICT実施率の向上に取り組む必要がある。

- ①ICT活用工事を経験した建設企業は、土木一式Aランク業者で約4割に留まっている。
- ②現場条件によっては、県の積算と現場の必要経費に乖離がある。

⑤ ICT活用工事の今後の進め方

- 目標
 令和5年度を目途にICT活用工事(土工)を定着
 ※ただし、小規模な工事等を除きます。

- 取組方針
 ICT実施率を向上させるため、以下の取組を行う。

- ①講習会などを通じ、ICT活用による生産性の向上、必要経費の工事価格への反映、工事成績によるインセンティブの付与等について説明し、ICTの活用を促す。
- ②県の積算と現場の必要経費に乖離がある工事の実態を調査・分析し、必要な見直しを行う。

① 建設キャリアアップシステムとは

業界統一のルールで、就業履歴や保有資格などをICカードを通じ蓄積することで **技能者の処遇改善**や**技能の研鑽**を図ることを目指すシステムです。

① 事業者・技能者情報の登録

事業者



事業者情報

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

技能者



技能者情報

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況 等

**事業者情報(元請・下請)
技能者情報をシステムに登録**

② カード交付、現場での読取

技能者にICカード交付されます



現場情報をシステムに登録

【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容
- ・施工体制 等

↓

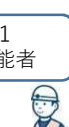


建設現場に設置された
カードリーダーで読取、
就業履歴を蓄積


③ レベル分けの評価

**技能者の「技能」と「経験」を
4つのレベル分けて評価**


レベル1
初級技能者




レベル2
中堅技能者



レベル3
職長



レベル4
高度なマネジメント
能力を有する者



一般財団法人 建設業振興基金HPより

② 建設キャリアアップシステム導入のメリット

技能者のメリット



- ・仕事の記録を貯めて実力を証明
- ・技能者が適正に評価されて賃金アップ↑
- ・若い人たちは明確な目標でモチベーションアップ↑

事業者のメリット

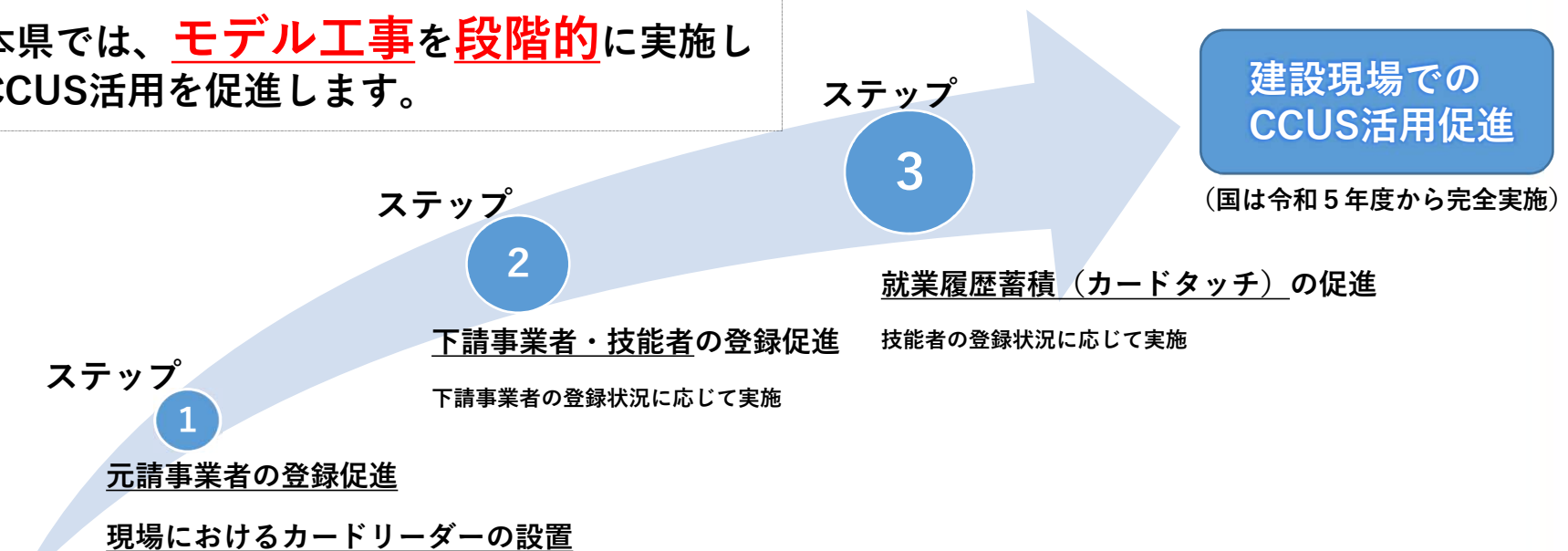


- ・処遇改善により、技能者の入職・定着が進み業界全体の担い手確保が進む
- ・施工体制台帳や社会保険加入状況などの情報を容易に管理することが可能

③ 建設キャリアアップシステムの活用に向けて

CCUS活用促進に向けた取組

本県では、**モデル工事**を**段階的**に実施し
CCUS活用を促進します。



下請事業者の登録状況に応じて実施

技能者の登録状況に応じて実施

(国は令和5年度から完全実施)

令和3年度に実施
入札時の参加要件 (元請事業者のCCUS登録)

事業者登録の促進を図るため、
本県では全国に先駆けて、入札時の参加要件に設定

(全国: 21.4%、三重県: 20.1% 9月末時点)

他県におけるCCUSの取組状況 (9月末時点)

工事成績評価による加点 (11県)

総合評価による加点 (12県)

格付 (入札参加点) による加点 (10県)

24県でいずれかの取組を実施 (重複あり)
(国は工事成績評価による加点)

③ 建設キャリアアップシステムの活用に向けて

令和3年度 の 取組

「令和3年10月以降に
ステップ①モデル工事を実施します」
(令和3年6月29日公表)

ステップ①モデル工事の内容

【1. 対象工事】

予定価格7千万円以上の土木一式工事 (Aランク対象)

【2. 入札参加条件】

元請事業者のCCUS登録

【3. 現場実施条件】

現場にカードリーダーを設置



【4. 県による費用負担】

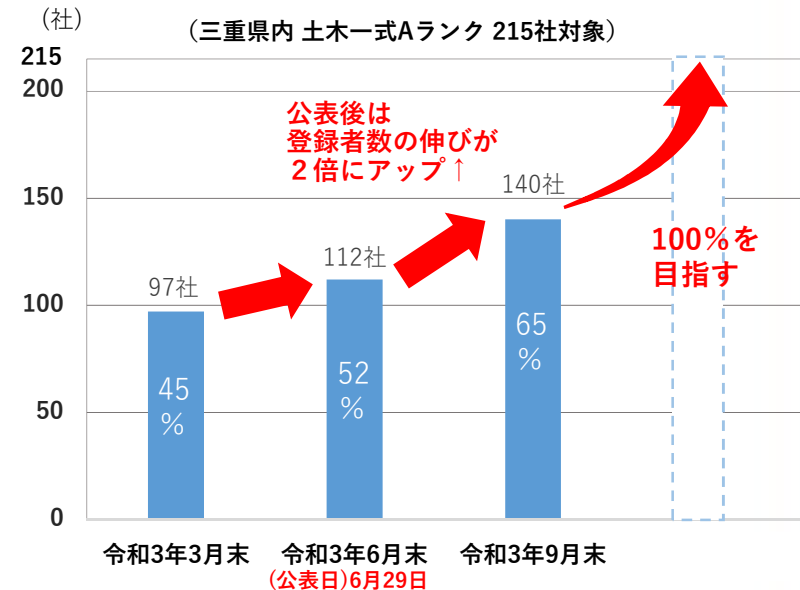
カードリーダー購入費 (最大3万円)

カードタッチ費用 (1タッチ10円)

各建設事務所及び流域下水道事務所において1件程度実施

CCUS登録の状況

事業者登録状況



三重県内技能者登録状況

